

原 安 第457号

令和6年11月8日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について（通知）

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

1 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名
2024年10月31日付け 立コミ本第262号〕・・・別添1



別 添 1

立コミ本第262号

2024年10月31日

佐賀県知事

山口祥義様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

池辺和彦

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、
別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬 具

報告書内容

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1. 環境保全測定報告書 | (月報) |
| 2. 発電実績 | (月報) |
| 3. 核燃料物質の消費状況 | (月報) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | (月報) |
| 5. 環境放射能の測定結果
モニタリングポスト | (月報) |
| 6. 廃止措置の実施状況 | (月報) |
| 7. 一次冷却材報告書 | (四半期報) |
| 8. 環境放射能の測定結果
(1) モニタリングポイント | (四半期報) |
| (2) 環境試料 | (四半期報) |
| 9. 発電所職員等に対する教育訓練の実施状況 | (四半期報) |

以 上

環境保全測定報告書

2024 年 9 月分

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1 ・ 2 号 機	玄海 3 ・ 4 号 機
	0.06	0.04

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1 ・ 2 号 機					玄海 3 ・ 4 号 機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/ℓ) *1	浮遊物質 量 (mg/ℓ) *2	油 分 (mg/ℓ) *2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/ℓ) *1	浮遊物質 量 (mg/ℓ) *2	油 分 (mg/ℓ) *2
9月4日	7.7	1.6	—	—	9月2日	7.3	1.3	—	—
9月11日	7.6	1.0	—	—	9月9日	7.0	1.1	—	—
9月18日	7.5	1.0	0.5	検出せず	9月17日	7.0	1.5	—	—
9月25日	7.5	2.7	—	—	9月25日	7.0	2.8	0.1	検出せず

*1 毎週1回以上の測定

*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)
9月10日	26.8	24.7	検出せず	24.3	30.8	検出せず	24.2	30.8	検出せず
9月20日	28.1	26.3	検出せず	26.0	32.5	検出せず	25.9	32.5	検出せず
9月30日	25.0	25.1	検出せず	25.2	31.7	検出せず	25.2	31.8	検出せず

発 電 実 績

2024年9月分

九州電力株式会社

号機		※1 1 号 機	※2 2 号 機	3 号 機	4 号 機	発電所合計
最 大 出 力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000
発 電 日 数	日	—	—	30	30	30
発 電 時 間 数	時間	—	—	720	720	720
電 力 量	発 電 端	10 ³ kWh	—	866,733	857,516	1,724,249
	所 内 消 費	10 ³ kWh	1,628	1,356	35,419	72,325
	送 電 端	10 ³ kWh	-1,628	-1,356	831,314	1,651,924
最 大 電 力	kW	—	—	1,209,000	1,195,000	2,404,000
平均最大電力	kW	—	—	1,206,100	1,192,867	2,398,567
平 均 電 力	kW	—	—	1,203,796	1,190,994	2,394,790
負 荷 率	%	—	—	99.6	99.7	99.6
利 用 率	%	—	—	102.0	100.9	101.5

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2024年 9月分 九州電力株式会社
(玄海原子力発電所1号炉)

初 期 濃 縮 度 (%)	炉 内 入 量		月 末 在 庫 量 (炉内そう入用)		月 末 装 荷 量				炉 外 取 出 量				月 末 在 庫 量 (払出用)			熱 消 費 量 (10 ⁹ kJ)	核 燃 料 物 質 消 費 量 (kg)	
	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ⁻³ kWd/t)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ⁻³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)			
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(87)	33,075	324	326	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(113)	42,466	384	487	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(168)	64,681	1,414	595	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(368)	140,223	2,122	1,408	0	0

(注) 2015年4月27日運転終了
(注) () 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所2号炉)

2024年

9月分

初 期 濃 縮 度 (%)	炉 内 そ う 入 量		月 末 在 庫 量 (炉内そう入用)				月 末 装 荷 量				炉 外 取 出 量				月 末 在 庫 量 (払出用)			熱 消 費 量 (10 ⁹ kJ)	核 燃 料 物 質 消 費 量 (kg)	
	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ⁻³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ⁻³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)				
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(189)	72,769	822	680	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(177)	66,880	754	729	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(84)	33,261	1,168	159	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(450)	172,910	2,744	1,568	0	0

(注) 2019年4月9日運転終了
(注) () 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2024年 9 月分 九州電力株式会社
(玄海原子力発電所3号炉)

初 期 濃 縮 度 (%)	炉 内 入 量			月 末 在 庫 量 (炉内そう入用)			月 末 装 荷 量				炉 外 取 出 量				月 末 在 庫 量 (払出用)			燃 料 消 費 量 (10 ⁹ kJ)	核 燃 料 物 質 消 費 量 (kg)	
	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)			
2.00	0	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	(65)	29,209	233	205	0	0
3.50	0	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	(18)	7,828	59	91	0	0
4.10	0	0	—	(133) 58,973	1,243	—	(193) 85,085	1,856	640	23,025	0	0	0	0	(646) 278,191	3,156	3,127	3,127	8,815	107
(MOX) 4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(36) 14,769	22	1,148	1,148	0	0
合 計	0	0	0	(133) 58,973	1,243	0	(193) 85,085	1,856	640	9,291	0	0	0	0	(765) 329,996	3,470	4,571	4,571	8,815	107

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所4号炉)

2024年 9 月分

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱 消費量 (10^9 kJ)	核 燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	プルトニウムの 量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)		
2.00	0	0	(1)	453	4	0	0	0	0	0	0	0	28,765 (64)	195	220	0	0
3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,186 (850)	286	304	0	0
4.10	0	0	(137)	59,674	873	2,117	562	18,944	0	0	0	0	366,334 (978)	3,903	4,188	8,816	107
合 計	0	0	(138)	60,127	877	2,117	562	4,558	0	0	0	0	423,286 (978)	4,384	4,712	8,816	107

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年9月分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
287 (-104)	39,471

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 4 年 9 月 分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年9月分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年9月分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に表示。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

環境放射能測定結果

(2024 年 9 月分)

2024 年 10 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2024 年 9 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	25	24	24	16	25	24	24
2	25	24	24	17	25	23	25
3	25	24	25	18	25	24	24
4	25	24	25	19	25	24	24
5	26	24	25	20	25	24	24
6	24	24	24	21	25	24	24
7	25	24	24	22	34	24	26
8	25	24	24	23	25	24	24
9	26	24	25	24	25	24	24
10	26	24	25	25	26	24	25
11	25	24	24	26	26	24	25
12	25	24	24	27	25	23	24
13	25	24	24	28	24	24	24
14	25	24	24	29	25	24	24
15	25	24	24	30	25	24	25
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2024 年 9 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	22	21	22	16	23	21	22
2	23	22	22	17	23	21	22
3	23	22	23	18	23	22	22
4	23	22	22	19	23	22	22
5	23	22	23	20	23	21	22
6	22	22	22	21	22	21	22
7	22	22	22	22	30	22	23
8	23	22	22	23	22	22	22
9	24	22	23	24	23	22	22
10	23	22	22	25	24	22	23
11	23	21	22	26	24	22	23
12	23	22	22	27	22	21	22
13	23	22	22	28	22	21	22
14	23	22	22	29	23	22	22
15	22	21	22	30	23	22	23
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2024 年 9 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	24	23	23	16	24	23	24
2	24	23	23	17	25	23	24
3	24	24	24	18	24	23	24
4	25	23	24	19	24	23	24
5	25	23	24	20	24	23	23
6	24	23	23	21	24	23	23
7	24	23	23	22	33	23	25
8	24	23	24	23	23	23	23
9	25	24	25	24	24	23	23
10	25	23	24	25	25	23	24
11	24	23	24	26	25	23	24
12	24	23	23	27	24	23	23
13	24	23	24	28	23	22	23
14	24	23	24	29	24	23	23
15	24	23	23	30	24	23	24
				31	—	—	—

玄海1号機 廃止措置の実施状況
(2024年 9月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工（7月13日）								
除染準備作業	■								
装置設置		■							
除染		■							
片付け（装置撤去）		■							
(2)汚染状況の調査									
線量当量率測定	■	■	■	■	■	■	■	■	■
試料採取	■	■	■	■	■	■	■	■	■
輸送・分析・評価		■	■	■	■	■	■	■	■
(3)汚染のない設備の解体撤去	■	■	■	■	■	■	■	■	■
高圧給水加熱器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
低圧給水加熱器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
タービン建屋内機器保温材	■	■	■	■	■	■	■	■	■
主/所内変圧器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
循環水ポンプ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ロータリースクリーン	■	■	■	■	■	■	■	■	■
スクリーン洗浄ポンプバックアップポンプ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
脱気器/湿分分離器逃し弁	■	■	■	■	■	■	■	■	■
(4)使用済燃料搬出									
(5)新燃料搬出									

2 今月の作業実績（注2）

(1) 系統除染

・実績なし（作業終了：2017.7.13～2018.12.11）

(2) 汚染状況の調査

・実績なし（作業終了：2017.8.29～2022.3.18）

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	スクリーン洗浄ポンプバックアップポンプ解体撤去工事 ・2024.1.29～2024.9.24 脱気器/湿分分離器逃し弁解体撤去工事 ・2024.5.31～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	1026.2	0	1026.2	0
コンクリート類	0	47.1	0	47.1	0
その他	9.7	109.2	9.7	109.2	0

(4) 燃料搬出 (注4)
・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	64
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m³)	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	0	784	0	0	784
均質固化体	0	22	0	0	22
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	0	762	0	0	762

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

今月			累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2024.9.30] (人・mSv)
合計 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.01	0.00	0.01	200.56

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量（トン数）を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量（当初）」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量（前月末まで）」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数（累計）を記載する。

(注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可（2017.4.19）以降の1号機における発生量（発電所全体量の内数）を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量（ m^3 ）を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2 m^3 】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量（ m^3 ）を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量（ m^3 ）を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量（本数）を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量（本数）を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値（単位： mSv 、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁）を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況
(2024年 9月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)汚染状況の調査						
線量当量率測定						
試料採取						
輸送・分析・評価				輸送・分析 評価		
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工（6月29日） A,B湿分分離加熱器 RO装置	タービン建屋内機器保温材 油計量タンク 塵芥搬送装置 バケット吊り装置	復水器真空ポンプ	高圧給水加熱器 C,D湿分分離加熱器 脱気器/湿分分離器逃し弁 スチームコンバータ 復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備含む） 復水フィルタ SGBD熱回収装置 蒸気ヤード	主/所内変圧器 循環水ポンプ ロータリースクリーン 補給水処理設備 屋外用空気圧縮機 液体窒素供給装置	
(3)使用済燃料搬出				搬出計画検討		
(4)新燃料搬出	輸送容器への収納方法 検討・搬出準備					

2 今月の作業実績（注2）

(1) 汚染状況の調査

・実績なし（作業終了：2020.8.17～2023.9.22）

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	補給水処理設備、屋外用空気圧縮機 解体撤去工事 ・2024.1.29～2024.9.24 液体窒素供給装置解体撤去工事 ・2024.1.29～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	1405.4	0	1405.4	0
コンクリート類	0	137.8	0	137.8	0
その他	0	180.3	0	180.3	0

(3) 燃料搬出 (注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	254
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	168
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	28
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	84
		搬出量 (前月末まで)	84
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(4) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m³)	0	0	0	0	0
固体廃棄物 (本)	27	477	0	16	461
均質固化体	7	36	0	0	36
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	20	441	0	16	425

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

今月			累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1~2024.9.30] (人・mSv)
合計 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.02	0.00	0.01	11.40

3 その他

・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量（トン数）を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量（当初）」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量（前月末まで）」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数（累計）を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可（2020.3.18）以降の2号機における発生量（発電所全体量の内数）を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量（m³）を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1 m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量（m³）を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量（m³）を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量（本数）を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量（本数）を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値（単位：mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁）を集計して記載する。

一 次 冷 却 材 報 告 書

2024 年度 第 2 四半期分

玄海原子力発電所 3 号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	圧 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	圧 力 MPa	流 量 T/h
7 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.7	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
8 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.8	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
9 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.7	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100

一 次 冷 却 材 報 告 書

2024 年度 第 2 四半期分

玄海原子力発電所 4号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	圧 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	圧 力 MPa	流 量 T/h
7 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.9	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
8 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.8	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
9 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.9	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100

環境放射能測定結果

(2024 年度第 2 四半期分)

2024 年 10 月

九州電力株式会社

第2024—2回

積算線量測定結果（モニタリング・ポイント）

1 測定条件

(1)測定素子 ガラス線量計（AGCテクノグラス SC-1）

(2) 測定期間

2024年 7月 3日 ~ 2024年10月 2日 (A)

2024年 7月 4日 ~ 2024年10月 3日 (B)

A : 91日間 (2184時間)

B : 91日間 (2184時間)

(3) 事前アニール 実施年月日 2024年 7月 2日

実施場所 環境放射能測定室

(4) 読取条件 読取日時 2024年10月 2日18時13分～

2024年10月 3日18時 5分

読取場所 環境放射能測定室

リーダ 旭テクノグラス FGD-202

(5) 備 考

な し

2. 測定結果

ポイントNo. (場所)	積算線量 (mGy)		線量率換算値		備 考
	測定値	91日間換算値	nGy/h	mGy/y	
P-1 (岸壁側)	0.11	0.11	50	0.44	B
P-2 (展示館)	0.14	0.14	62	0.54	B
P-3 (ステーション)	0.12	0.12	53	0.46	B
P-4 (ダム北)	0.12	0.12	55	0.48	B
P-5 (ダム南)	0.11	0.11	52	0.45	B
P-11 (九電今村寮)	0.13	0.13	60	0.53	B
P-12 (外 津)	0.13	0.13	58	0.51	B
P-13 (中 通)	0.14	0.14	63	0.56	B
P-14 (旧値賀第1コミュニティセンター)	0.12	0.12	54	0.48	B
P-15 (池 崎)	0.13	0.13	58	0.51	B
P-16 (串 崎)	0.12	0.12	54	0.48	B
P-17 (仮 立)	0.13	0.13	58	0.51	B
P-31 (串 浦)	0.13	0.13	58	0.51	B
P-32 (値賀川内)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-33 (浜野浦)	0.12	0.12	53	0.46	B
P-34 (米納戸)	0.12	0.12	55	0.48	B
P-51 (名護屋)	0.11	0.11	51	0.45	B
P-52 (小加倉)	0.12	0.12	55	0.49	B
P-53 (仮屋公民館)	0.15	0.15	67	0.59	B
P-54 (有浦コミュニティセンター)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-72 (石 原)	0.13	0.13	58	0.51	B
P-73 (加部島B)	0.11	0.11	51	0.45	A
P-91 (加唐島B)	0.13	0.13	59	0.52	A
P-92 (馬渡島B)	0.12	0.12	57	0.50	A

第2024-2回

環境試料の放射能測定結果

1 測定条件

(1) 核種分析

- a 測定器 Ge (Int) 多重波高分析装置
(セイコー・イージーアンドジー MCA-7a)
低バックグラウンド放射能自動測定装置
(日立製作所 LBC-4602)
低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置
(日立製作所 LSC-LB8)
- b 測定期日 2024年 7月 1日 ~ 2024年 9月30日
- c 測定方法 放射能測定法シリーズ (文部科学省)
「放射性ストロンチウム分析法」 (平成15年4訂)
「放射性ヨウ素分析法」 (平成8年2訂)
「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」
(平成4年3訂)
「環境試料採取法」 (昭和58年)
「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の
前処理法」 (昭和57年)
「トリチウム分析法」 (平成14年2訂)
に準じた。

2. 測定結果

2. 測定結果

分類	試料名	採取年月日	核種別放射能強度							備考
			単位	⁹⁰ Sr	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁶⁰ Co	³ H	
海産生物	たいい (発電所から10km圏内の海域)	—	Bq / kg 生	—	—	—	—	—	—	
	いか (発電所から10km圏内の海域)	2024.7.16	"	—	—	ND	ND	ND	—	
	さざえ (八田浦周辺)	—	"	—	—	—	—	—	—	
	なまこ (")	—	"	—	—	—	—	—	—	
	わかめ (")	—	"	—	—	—	—	—	—	
海底土	ほんだわら類 (")	—	"	—	—	—	—	—	—	
	1・2号放水口付近	2024.7.16	Bq / kg 乾	ND	—	ND	ND	ND	—	
	1・2号取水口付近	2024.7.8	"	ND	—	ND	ND	ND	—	
	3・4号放水口付近	2024.7.16	"	ND	—	ND	ND	ND	—	
	3・4号取水口付近	2024.7.8	"	ND	—	ND	ND	ND	—	
海水	1・2号放水口付近	2024.7.16	m Bq / l	—	ND	ND	ND	1.5	ND	—
	1・2号取水口付近	2024.7.8	"	—	ND	ND	ND	1.5	ND	—
	3・4号放水口付近	2024.7.16	"	—	ND	ND	ND	2.0	ND	—
	3・4号取水口付近	2024.7.8	"	—	ND	ND	ND	1.9	ND	—
	ダム水	2024.7.4	"	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND
陸水	志礼川(値賀浄水場)	2024.7.18	"	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	岸壁側	—	Bq / kg 乾	—	—	—	—	—	—	—
	正門南	—	"	—	—	—	—	—	—	—
	九電今村寮	—	"	—	—	—	—	—	—	—
	ダム底土	—	"	—	—	—	—	—	—	—
土壌	米 (普恩寺)	—	Bq / kg 生	—	—	—	—	—	—	—
	米 (下宮)	—	"	—	—	—	—	—	—	—
	かんしよ (普恩寺)	—	"	—	—	—	—	—	—	—
	かんしよ (今村)	—	"	—	—	—	—	—	—	—
	松葉 (敷地内)	2024.8.20	"	—	ND	ND	0.014	ND	—	—
植物	ほうれん草 (今村)	—	"	—	—	—	—	—	—	—
	牛乳 (浜野浦)	2024.8.7	Bq / l	—	ND	ND	ND	ND	—	—
	正門南	2024.6.27 ~ 2024.9.30	m Bq / m ³	—	—	ND	ND	ND	—	—
	浮遊じん	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) ND——検出限界未満を示す。

発電所職員等に対する教育訓練の実施状況

(2024年度 第2四半期分)

I. 玄海原子力発電所九電社員

(1/4)

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職 場 外 教 育	原子力発電訓練センター	初期訓練	原子力関係基礎理論教育（講義） 各設備機器の構造機能教育（講義） 運転操作訓練（講義及びシミュレータ訓練）	プラント管理課員 発電第二課員	2024/7～9	2	来期へ継続
		再 訓 練	一 般 コ ー ス 運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）		2024/7, 8	6	
			上 級 コ ー ス 運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）		2024/9	4	
			監 督 者 コ ー ス 監督者の指揮命令、判断能力の訓練 （講義及びシミュレータ訓練）		2024/7	3	
			実技試験 コ ー ス 運転操作訓練 監督者の指揮命令、判断能力の訓練・試験 （講義及びシミュレータ訓練）		—	—	
	メーカ	保守技能 研 修	一・二次系、制御、電気設備に関する知識・保守技術の 習得	設備管理課員 保守第二課員	—	—	
		品質管理 研 修	非破壊検査に関する知識・検査技術の習得		—	—	
	日本研究 開発 原子力 機構	原子力 基礎研修	原子炉研修一般課程、基礎課程、放射線防護基礎コース 等のコースによる原子力に関する知識・技術の習得	技術系要員	—	—	
	発 電 所	保安規定 教 育	原子炉施設保安規定の理解と遵守事項の周知	全 所 員 （所長は除く）	—	—	
		放 射 線 防護教育	放射線防護に関する知識の習得、遵守事項の周知	放射線業務従事者	—	—	
		防災教育	防災組織等に関する知識の習得、防災意識の高揚	全 所 員 （所長は除く）	—	—	
		安全協定 教 育	安全協定の内容に関する周知 社会の動向、安全協定等	全 所 員	—	—	
		消防訓練 （防火・ 防災対応）	火災発生時、災害等発生時に自衛消防組織による迅速な 消火活動及び避難等が十分機能することの確認	全 所 員 （当直は除く）	—	—	

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職 場 外 教 育 所	発 電	避難、救助訓練	傷病者発生時の救急活動及び原子力災害時の避難活動が的確かつ迅速に処置できることの確認	全 所 員 (当直は除く)	—	—	
		原子力防災訓練	非常事態発生時に発電所として対処すべき必要事項の処置並びに防災体制、組織が総合的に機能することの確認		—	—	
		火災防護、内部溢水、火山影響等の自然災害対応教育	火災、内部溢水、火山影響等及びその他自然災害(地震、津波及び竜巻等)発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	—	—	
		有毒ガス発生時の対応教育	有毒ガス発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	—	—	
		通報連絡訓練	異常発生時等に社内外の関係先への確かつ迅速に通報連絡できることの確認	関 係 者	2024/9	11	
		危険物保安教育	危険物の取扱い及び防火管理に関する意識の高揚		2024/7	9	
		アクシデントマネジメント教育	重大事故等及び大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	2024/7, 9	398	
		要員養成教育	原子力訓練センターにおける訓練	設備管理課員 保修第二課員 発電第二課員	2024/7～9	142	
			安全作業及び品質管理教育	関 係 者	—	—	
		導入教育	新入社員教育 〔発電所の概要及び従事者として必要な安全協定等の机上教育並びに実務教育〕	新入社員全員	2024/7～9	21	前期より継続及び来期へ継続
			転入社員教育 〔発電所の従事者として必要な保安規定、安全協定並びに品質保証等の机上教育〕	転入社員全員	2024/7, 8	40	
			放射線業務従事者指定時等の放射線管理教育	放射線業務従事者に指定する者	2024/7～9	17	
職 場 内 教 育		要員養成教育	技術系各課の業務遂行に必要な実務教育	技術系各課配属者	2024/7～9	配属者 全員	前期より継続及び来期へ継続
			緊急処置訓練 (模擬操作訓練及び処置の検討)	プラント管理課 発電第二課 当直員全員	プラント管理課 (1回/2ヵ月) 発電第二課 (1回/月)	プラント管理課 及び 発電第二課 当直員全員	

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職場教育	職場外	成立性確認訓練	重大事故等対応に係る成立性を確認するための訓練	運転員、運転対応要員、保守対応要員、緊急時対策本部要員（指揮者等）、特重施設要員	2024/7～9	773	
		重大事故等発生時の対応に係る総合的な訓練	重大事故等発生時のプラント状況の把握、的確な対応操作等の総合的な訓練	運転員、重大事故等対策要員、緊急時対策本部要員、特重施設要員	—	—	
		大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練	大規模損壊発生時のプラント状況の把握、情報収集、的確な対応操作の選択及び緊急時対策本部要員指揮者等、特重施設要員及び専属自衛消防隊との連携を含めた総合的な訓練	任意の緊急時対策本部要員（指揮者等）、特重施設要員、専属自衛消防隊	2024/7, 9	26	
		アクシデントマネジメント訓練	大規模損壊発生時に通常の指揮命令系統が機能しない場合等の事態を想定した教育訓練	所長、原子炉主任技術者、緊急時対策本部要員（指揮者等）、発電第二課長、保守第二課長 他	2024/7	2	
		力量維持訓練	重大事故等及び大規模損壊発生時に、適切に対応できるように力量を維持するための訓練	保守対応要員、緊急時対策本部要員（指揮者等を除く）	2024/7～9	279	
		緊急処置訓練（特重施設）	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝突等による大規模損壊発生時における各種緊急事象の発生に対する模擬操作訓練及び処置の検討	特重施設要員	2024/7～9	327	
		特重施設の操作に係る成立性確認訓練	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝突等による大規模損壊発生時における特重施設による対応操作を確認する訓練	特重施設要員	—	—	
	職場内教育	特定核燃料物質防護対策教育	核物質防護設備の運用及び異常時の措置に関する知識の習得、核物質防護に対する意識の高揚	全 所 員	2024/9	351	
		特定核燃料物質防護対策訓練	発電所防護上の緊急時に社内外への迅速な通報連絡及び対応等の所要の措置を講ずることができることの確認	関 係 者	—	—	

Ⅱ. 協力会社玄海事業所従業員

(4/4)

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
協力会社への教育	発電所	安全衛生協議会	安全衛生管理の推進を図るため、災害防止等の安全確保意識の啓蒙と相互間の連絡、調整	〔玄海原子力発電所〕の管理職 安全衛生協議会加盟会社の責任者	2024/7～9	55～59	
		避難・救助訓練	救急処置の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の放射線管理責任者及び作業責任者	—	—	
		消防訓練 (防火・防災対応)	消火活動、防災活動の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の従業員	—	—	